

ひろばドリーム

発行番号 NO. 319号
発行日 2020年3月31日
編集発行 県ドリームハイツ自治会 広報部
連絡先 TEL851-2596
E-mail : kdreamj-1@woody.ocn.ne.jp

会 長

自治会会長としての任期が3年目を過ぎようとしています。今年度は予想外の出来事が色々ありました。特に雨風災害がこの地域で2度も発生し、かなりの被害がありました。防災の重要性がさらに高まっています。又、年度終わりには、パンデミックリスクのため、殆どの行事が中止又は縮小されました。計画していきなかつたことが多くあります。まだまだ道半ばです。もう少し現職で頑張りたいと思いますので、皆さんのご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

(塚本 英史)

副 会 長

私は防災について関心はあっても、住民をまとめる心得も知識もなく、防災担当になってもハイツの現状も分からず戸惑う事ばかりでしたが、一年の体験はとても重要なものでした。防災に関わる知識や技術は、長年訓練を積み、経験を重ねなければなりません。新型コロナウイルス肺炎の騒動の中、主にトイレトペーパーとティッシュペーパーの狂騒を目の当たりにすると、備蓄がされてるのか疑問が残ります。『情報を正しく把握し理解して、決して早急な行動を取らないよう』大いに広報が必要と感じます。最後になりましたが、大きな指標となって下さった、防災隊の皆さんにお礼を申し上げます。

(副会長 A 高橋 澄子)

当ハイツで自治会の果たす役割って？ 住民の皆様方が住み良いと思えるようなお手伝いができたのか？ 急速に高齢化の進んでいるこの団地の中で、自治会としての対応に自らが十二分に果たせたのか？ただ、日々与えられた軋制の中、業務遂行のみに追われていなかったか？思うと至らぬ事ばかり多かった自分への反省の中、今期でリタイアさせていただき事になりました。私事では、この自治会活動を通し、本当に数多くの皆様方と知り合う事ができ、お友達の輪がスゴク広がった事！これは大切な大切な宝となりました。この宝は大事にあためていくつもりです。どうぞ皆様方、これからも何卒宜しくお願い申し上げます。また、事務局の事務員のお二方、色々有難うございました。曲りなりにも私が自治会活動は続けられたのが、諸先輩の方々からのアドバイスと、事務員の方々へのヘルプなくしてはできなかつたと厚く感謝申し上げます。お世話になりました。

(副会長 B 中村 宏道)

役員互選会では副会長Cとなり不安ばかりでスタートしました。お祭りはおやじの会、色々なサークルの協力のもと役員一同力を合わせて頑張りました。フェスタも同様に準備が進められました。お手伝いして下さる方々も私達役員も高齢化が進んでいます。今後も無理のない範囲で楽しみたいです。一年間頑張ってきたのは事務局の方、一緒に活動した役員の方のお陰です。自治会の仕事を通して知り合う事のできた沢山の方に感謝致します。

(副会長 C 上條 治子)

会 計

このハイツに引越して来て、まだ1年しかたっていない、全く何も判らないままやることになった役員。。。普段はフルタイムで仕事もしているし、私に務まるのか？ 不安しかなかったですが、相方の会計吉川さんに沢山フォローして頂き無事に一年務める事ができました。役員会や行事等も、仕事の関係でなかなか出席、参加もできず、他の役員さんにもご迷惑をお掛けしてしまっていたかと思ひます。それでも、過ぎてみればあつという間の1年で、助けて頂いた皆様には感謝しかないです。1年間有難う御座いました。

(太田 香奈子)

令和2年4月19日

開催予定の自治会定時総会は、新型コロナウイルス感染予防のため延期とし書面にて表決を行います。ご協力お願いいたします。

自治会長

退任された

役員のみなさまからのご挨拶

事 務 局

去年の申し送りで「ぜひ改革に挑戦してください」と言われました。そして1年やって感じたこと。それは初めて経験することで右も左もわからずただ去年のコピーしかできないということ。改革なぞとんでもありません！しかし住民の多くの方が高齢になってきている今、自治会活動も見直しが必要。そこに気が付いた方は率先して関わっていただきたいとも思いました。そんな中で初めて経験する役員さん達、手探りでホントーに頑張りました。もちろん住民の皆様への自治会への関心とご協力があったればこそです。いろいろな経験をさせていただきありがとうございました。

(事務局長 川島 佐和子)

会議、行事の打ち合わせ、管理組合と防災隊などの交流があって顔見知りが多くなりました。大正地区のレクリエーション大会(運動会)に参加して感じたことは子供の参加2~3人と少ないため他地区から競技者を借りると淋しい思いをした事です。

これからも安全、安心で緑多き環境とありますように期待します。

(事務局次長 榎引 克美)



初めて自治会の役員を受けました。思っていた以上に大変な事でした。一つのイベントが終わるたびに「無事に終わって良かった♪」という感じです。知り合いが一人もいない中で不安な時もありました。迷惑もかけました。でもいつも助けてくれました。ありがとうございました。次は何年後に役員が回ってくるかわかりませんが、その時はもう少し皆様の役に立てるようにしたいと思います。でもけっこう楽しい一年でもありました。

(吉川 博子)

文化 青少年

役員を引き受けて正直不安と戸惑いの中スタートでしたが、夏祭り、フェスタなど行事に携わり多くの人にささえてもらいながらもどうにか活動を終える事ができました。多々準備不足などでスムーズに活動が行えなかった反省もございます。活動を通して自治会の役割や活動の大切さなど少しは理解した様に思います。あっという間の1年でした。協力して頂いた皆様に感謝!!
(部長 林 淳子)

4月からの活動を開始し7月の夏祭りの準備、すいか、飲み物の準備配付の手伝い、10月市ハイツの祭りへの出店、ポップコーンの販売、11月ドリームフェスタの準備、作品展担当、会場設営と準備片付け、作品展には多数出展して頂きました。以上部員さんにお手伝いして頂き一年間過ごすことができました。ありがとうございました。
(副部長 大石 栄子)

防犯 交通

防犯交通部を一年間担当させて頂きました。防犯パトロールは、皆様のご協力を得て、反省点がありますが、取り組むことができました。また自治会の催しが、十分な打ち合わせのもとに行われたことを知りました。いい経験をさせていただいた一年間でした。
(部長 中村 信淳)
(副部長 川辺 鈴子)

広報

4月にスタートした役員も、いつの間にか終わろうとしています。夏祭り、ドリームフェスタ、色々なイベントに参加でき、良い経験ができました。広報の仕事も他の役員さん、事務員の方が手助けしてくださったので、ひろばドリームの発行を続ける事ができ感謝しています。一年間本当にお世話になりました。
(部長 小林 美紀)
(副部長 小池 麻里)



環境 衛生

環境衛生部を担当してすぐ一年が経過しました。最初は不安の日々でした。粗大ゴミについては棟幹事の協力を得て処分することができました。夏祭り時のゴミの分別、フェスタはゴミの分別体験コーナーを実施しました。棟幹事の感想文の中に「良い経験をした今後も役立てたいという」心温まる文を頂きました。私もこの経験を生かし、サポートするつもりです。
(部長 蒔田 一)

新しい元号に代わる年に環境衛生関わり一年となります。この一年間、ハイツ内のゴミ問題に直面して参りました。最初は何も解らない手探りの状態でしたが、横浜市が実現を目指す『ヨコハマ3R夢プラン』を継承しつつ、なんとか日々の不法投棄への対応、イベントの夏祭り、そしてフェスタ等での大量発生ゴミ処理などに対処する事が出来ました。

最後に関連各位のご協力により、大過なく過ごさせて戴きましたことを感謝致します。
(副部長 綿引 忠男)

厚生

一年間を通して振り返ると、部員さんを集めるのに苦労したという感想です。大きなイベントの夏祭りやドリームフェスタなど少人数での参加で他の役員さんに手伝って頂きながらなんとかこなせたのではと思います。それでも敬老の日のお祝い品は本当に喜んでいただき嬉しかったです。

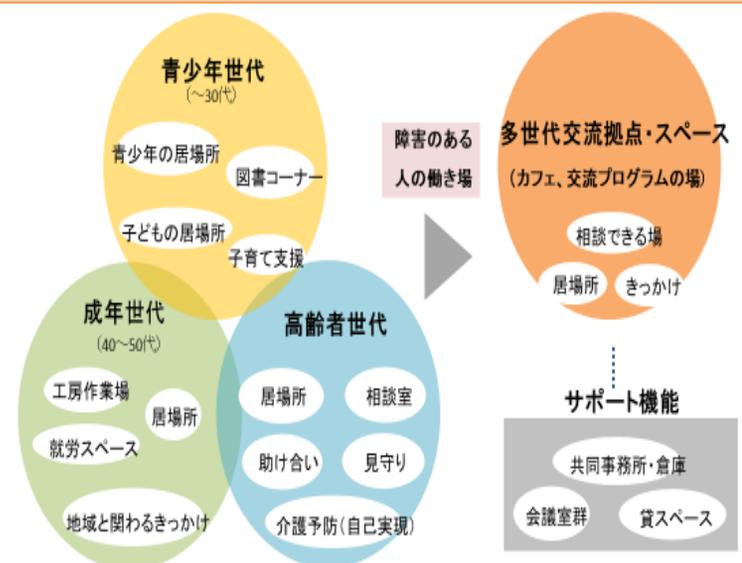
厚生部の仕事は決して少なくはありませんでした。7人という部員も様々な事情があって参加できない事もあります。これからはあまり負担なく尚且つ楽しめる様な改革ができたらいなと思いました。反省点など色々ありますが一年間ありがとうございました。

(部長 三塚 紀久子)
(副部長 山下 早百合)



多世代交流拠点とは

キャッチフレーズ **コンセプト** すべての世代、すべての機関とともに、「高齢タウンから多世代タウンへ」 必要な活動や暮らしを生み出す拠点を創る。



共にめざしたい、多世代交流

子どもも、若い世代も、子育て世代も生き生きと快適に暮らし高齢者も安心して自分らしく暮らせる、地域の魅力のシンボルとなるような交流拠点を、と活動している「ドリームハイツ多世代交流拠点検討委員会」です。2018年1月から活動を始めています。新たな拠点を求める団体、地域に必要な施設だと思ふ団体が集まり、まちづくりコンサルの参加を得て学習会を行い、色々な施設を見学に行き2019年度から横浜市より団地・マンション再生コーディネーター派遣を受けることができました。そして必要な機能について検討し、建設候補地の検討を重ねてきました。これからさらにイメージを固め、地域のみなさんにご意見を聞き、地域にとって、今後20年、30年後にも意味のある拠点となるような建物にしていきたいと思っています。まだまだ進行中です。(多世代交流検討委員会)

資源物売却報告

1月(12月回収資源物分) (単位: kg・円)

品 種	ダンボール	新聞	雑誌	ミルクカートン	古布	アルミ缶
発生量	0	0	0	0	0	340
売却金					0	3,400

2月(1月回収資源物分)

発生量	0	0	0	0	0	340
売却金					0	3,400

編集後記

一年間のお付き合いありがとうございました。お陰様で最後の発行になりました。今回は退任される役員の方々に感想や苦労話を語っていただきました。皆さまの表に立ち、その何倍もの陰でのご苦労があったのだと感じました。本当に一年間ご苦労様でした。
(広報部)